

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4271200588
法人名	医療法人 衷心会
事業所名	グループホーム まごころ
訪問調査日	平成 20年 10月 18日
評価確定日	平成 20年 12月 8日
評価機関名	社会福祉法人 長崎県社会福祉協議会

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	4271200588
法人名	医療法人 衷心会
事業所名	医療法人衷心会 グループホームまごころ
所在地 (電話番号)	長崎県東彼杵郡波佐見町岳辺田郷字水洗361 (電話) 0956-27-6222

評価機関名	社会福祉法人 長崎県社会福祉協議会		
所在地	長崎県長崎市茂里町3番24号		
訪問調査日	平成20年10月8日	評価確定日	平成20年12月8日

## 【情報提供票より】(平成20年 8月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	15 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 15.92 人

### (2) 建物概要

建物形態	併設 <del>(単独)</del>	<del>(新築)</del> 改築
建物構造	鉄骨 造り	
	1 階建ての	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	— 円
敷 金	有( 円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		850円

### (4) 利用者の概要(平成20年 8月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	6 名	要介護2	4 名		
要介護3	3 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 83 歳	最低	64 歳	最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	小鳥居病院、小鳥居クリニック、長崎神経医療センター
---------	---------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、田園風景が広がる中、近隣には民家もあり地域と交流しやすい場所に立地している。平地に2ユニットが並列して建てられているため、どちらも外から出入りしやすい造りとなっており、共有スペースは天井が高くゆったりとした雰囲気がある。日当たりと風通しの良い空間となっている。

同じ法人内の医療機関と連携をとりながら、緊急時など安心して暮らせる対応がなされている。近隣の小、中学校の体験学習を受け入れたり、町内会にも加入しており、地域との支え合う関係づくりに努めている。運営推進会議にも必ず地区の代表等が参加され、ホームの運営について理解を得られている。利用者の要望に沿って外泊や外出の支援をしたり、かかりつけ医の受診などの支援に努めている。

今後、職員の配置等を工夫しながら、その人のペースに合わせ、その人らしい生きがいのある暮らしができるケアの質の向上に期待したい。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善点について各職員と話し合っているが、全職員が理解し、日々の支援に具体的に反映するところまでは至っていない。今後は、外部評価の時期になって改善等に取り組むのではなく、日頃から話し合いを設ける機会を持ちたいという意向がある。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価について、運営やケアマネジメントの項目は管理者が中心となって取り組んでいるが、日々の支援に関する項目については、管理者が「考え方の指針」「着眼点」等の資料を配布し、各職員で自己評価に取り組んでいる。</p>
	②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議ではホームだよりを用いて、利用者の生活状況や行事について報告したり、消防設備・訓練について説明してホームへの理解を得ることで、地域の中で支え合いながら暮らすことにつなげている。</p> <p>今後は、2ヶ月に1回を目標に会議を開催し、参加者との意見交換の機会を増やしたい。</p>
重点項目	③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>玄関に意見箱を設置しているが、利用が少ない。家族等の面会時に面談の時間を設け、意見や苦情、不安へ対応しようと努めているが、家族等にホームの職員に対して遠慮があるため、意見を得ることが十分とは言えず、ホーム運営に反映するまでに至っていない。</p>
重点項目	④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の老人会の方々に、法人の運動会に参加していただいたり、近隣の小・中学校の体験学習を受け入れたりして、地域との交流に努めている。防災面では、自動火災通報装置により近隣住民(4軒)へ連絡が取れるシステムを構築することで、入居者の暮らしを支えるための協力を得ている。町内会に加入しているが、町内の行事等の情報が不足しているので、今後は情報収集に努め、地域活動にも積極的に参加することを期待したい。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初からの理念は変更されておらず、内容の一部に「症状の進行を予防します」を掲げているが、具体性に乏しく、管理者等はケアに反映しにくいと考えている。	○	管理者等は、理念には地域に根ざしたグループホームとしての内容を盛り込み、認知症の理解を深め、利用者本位のケアを行えるような理念づくりに取り組みたいとの意向があるので、今後職員と話し合いながら、その意向に沿ったホーム独自の新しい理念がつけられることを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時に理念を説明したり、日々確認できるようにホーム内に掲示し、職員の名札の裏にも理念を書いた紙を入れ、常に確認できるように配慮しているが、日々のケアに十分反映されているとは言えない。	○	日々のサービス提供場面において、理念が反映されていない場面を確実にとらえ、今後、時間を置かず申し送りやミーティング時に話し合ったり、認知症への理解を促す研修等の機会も十分設けたりして、全職員の意識向上を高める取り組みを期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の老人会の方々に、法人の運動会に参加していただいたり、近隣の小・中学校の体験学習を受け入れたりして、地域との交流に努めている。町内会に加入しているが、町内行事等の情報収集が不足しているため、地域活動に参加することは少ない。	○	町内会の行事等の情報収集の機会を増やして、町内の清掃やボランティア活動等地域活動へ積極的に参加するなど、地元の人々との交流を増やす取り組みを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は評価の意義を理解し、職員の理解を深めるために「考え方の指針」「着眼点」等の資料を配布した上で、職員と共に自己評価を行い、「日々の支援」の改善に活かそうと努めている。外部評価の結果は、家族が面会時に手に取ることができるよう、ホームの玄関に置いている。	○	自己評価及び外部評価についての説明や結果報告を、今後は家族に対しても十分行うことで、ホームへの理解をさらに深めることにはなるのではないだろうか。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年、会議は6ヶ月に1回のペースで開催されている。メンバーは利用者の家族、自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員で、ホームの状況の説明、行事の報告、消防設備・訓練に関する説明を行い、意見交換も行ってサービスの向上に活かそうと努めている。	○	運営推進会議は参加者との貴重な意見交流の場でもあるので、2ヶ月に1回を目標に開催し、参加メンバーには利用者や市町村の担当者の参加を促し、単に報告を行う場とならないような工夫を期待したい。

長崎県 医療法人表心会グループホームまごころ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	東彼三町ケアセミナーや町内のケアネットに加入し、研修に参加することで、サービスの質の向上に努めている。役場の担当者とは日常的に交流する機会は少ないが、ケアマネジャーが役場での諸手続きの際、担当者と情報交換を行うよう努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会時には現況を報告したり、毎月の利用料請求時に手紙を同封したりして家族に報告し、特に心身の変化が生じた場合には、その都度連絡するようにしている。預り金についても、毎月残高表を発行し領収書を添え報告している。また定期的にホームだよりを発行して、利用者やホームの様子をお知らせしている。	○	金銭管理については家族から問い合わせにくい面もあることを考慮し、書類の報告だけでなく、面会時等に説明しサインをもらったり、特に定期的な出費以外の費用については、事前に同意を得たりする等の配慮を期待したい。また、ホームだよりを年3～4回は発行し、ホームの現況を伝える機会を増やす取り組みも期待したい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議には家族の代表者等に参加していただいたり、ホームの玄関には意見箱を設置したりして、意見や苦情を表出できる機会を設けているが、それらを運営に反映させるまでには至っていない。	○	年に1回でも、家族同士が語り合うことができる機会を設ける等、職員や事業所側から積極的に働きかける具体的な取り組みを期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	これまで職員の定着率は高く、今回開設以来初めてユニット間の職員の異動を行っている。全職員両ユニットを兼務し、馴染みの関係を築くことで、今後の異動や離職によるダメージを防ぐ配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、法人内において認知症に関する学習会を行ったり、法人外の研修(東彼三町ケアセミナー、ケアネットはさみ)への参加を促したりしている。	○	法人外の研修参加後、他の職員へ資料を回覧したり、伝達講習をしたりして研修内容の共有を図る等、職員全体を育てていく取り組みを期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東彼三町ケアセミナーや町内のケアネットに加入し、研修に参加しているが、意見交流の場が少ないので、管理者も職員も他の事業所を見学する等交流を深めることにより、認知症ケアに対する意識の向上を図りたいとの意向がある。	○	他事業所への見学・交流を積極的に行い、自らの仕事を振り返り、学ぶべき点は吸収して、利用者へのサービスの質を向上させる取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービスを利用するまでに2回程見学してもらい、ホームの雰囲気を味わってもらうことで徐々に馴染めるよう配慮している。	○	これまでの生活を把握するために職員が家庭訪問したり、家族や本人に入居前にしばらく通所してもらったりして、担当者と顔なじみの関係をつくり、徐々にホームの生活に馴染んでもらう工夫を期待したい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に支えあう関係をつくろうと努めているが、言葉かけが感情的になってしまうこともあり、利用者の思いに共感する場面づくりが不足している。	○	ホーム内での研修や他のホームの見学等により、認知症に対する理解を高めたり、職員は利用者の表情をよく観察するとともに家族からも情報を得たりして、利用者の意向を理解するための根気強い働きかけを期待したい。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との会話を通して思いにふれ、食事や外出の希望等、利用者の意向を汲み取るよう努めているが、利用者一人ひとりの思いや意向の把握が十分であるとは言えない。	○	ユニットによって利用者のレベルに差があるので、担当者やケアマネジャーが率先して、職員の個人の能力に応じたアプローチの仕方を工夫し、それを全職員で共有しながら支援していくことを期待したい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期的なモニタリングを行い、月に1度のケア会議や状態変化時のカンファレンス等で、必要な関係者と話し合って介護計画を作成している。	○	利用者の課題と目標、それを達成するために必要な具体的な支援について、職員はしっかりと把握し、家族からの意見も反映されるよう、十分話し合いながら計画を作成していくことを期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的なモニタリングや、状態変化時にはカンファレンスを行い、利用者の現状に即した見直しに努めているが、今年度10月より計画作成担当者が異動となったため、ケアプランの整備が遅れている。	○	状態変化時だけでなく、定期的な見直しにおいても、画一的な計画でなく、本人や家族等の意見を反映させながら、地域でその人らしく暮らすために必要な具体的な支援を盛り込んだ計画作成となることを期待したい。

長崎県 医療法人衷心会グループホームまごころ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出や外泊の送迎、不穏時のドライブ、通院やその帰りの買い物の支援等を行っている。また法人内の隣接施設との交流もあり、本人と家族の希望に応じ、柔軟な支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の希望に応じ、入居前のかかりつけ医を主治医としたり、ホームの協力医の往診や、緊急時の対応を受けられるよう法人内の医療機関とも連携をとっており、安心して暮らしていける体制が整っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの介護については、重要事項説明書に提供サービスの一つとして挙げており、家族等へは職員や主治医から説明しているものの、急変時の応急処置について、適切な処置ができるか不安を抱いている職員もいる。	○	応急処置の仕方等具体的な支援については、急変に備え日頃より研修を繰り返す等、職員が自信を持って適切な処置ができるような取り組みを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の取り扱いは、十分留意している。職員の言葉かけの中に、利用者の行動に対して、根拠を考えない無意識の言動抑制になっているものがあり、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねている場合がある。	○	気持ちや思いを無視した言葉かけで利用者を傷つけてしまうことがないよう、日頃から職員の意識向上を図り、関わり方を管理者やリーダーが点検する等の対応の徹底を期待したい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースを大切にして、希望に沿って支援するよう努めているが、入浴の曜日や時間等、業務のスケジュールに利用者の生活を合わせている部分もある。	○	入浴の曜日や時間については、職員のローテーションを工夫する等の改善を期待したい。また、利用者の思いを引き出す言葉かけをして、一人ひとりの希望に配慮した、個別性のある支援を期待したい。

長崎県 医療法人衷心会グループホームまごころ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを献立に取り入れたり、能力に応じて調理の下準備や配膳、片付け等を職員と共に行ったりして、利用者と職員と一緒に食事を楽しむことができるよう努めている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週3回、午前中としているが、そのときに入浴できない利用者については、状況に応じて柔軟に対応するよう努めている。	○	利用者一人ひとりのこれまでの生活習慣や希望に合わせて入浴できるよう、職員のローテーションや言葉かけ等の工夫を期待したい。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの能力に応じて、食事の準備や後片付け、掃除や洗濯等の役割をお願いしている。また、絵を描いたり花を生けたりして得意分野で力を発揮してもらう等、利用者の趣味や気晴らしの支援にも努めている。	○	季節ごとのホーム内の行事を計画したり、利用者の希望に応じて墓参りやふるさと訪問を計画したりする等、日々の暮らしが楽しみや張り合いのあるものになるような取り組みを期待したい。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外気浴を促したり、誕生日には希望地への外出を計画したりしているが、外出する機会が少ない。	○	ホームの中だけで過ごさずに、町内の景色の良い場所への散歩や近隣の保育園への訪問等、家族の協力も得るなどの工夫をして、外出する機会を増やす取り組みを期待したい。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関には鍵をかけていない。利用者が外出するのを見落とさないためチャイムを取り付けているが、外出することを抑制しているのではなく、できるだけ入居者の外に出たいという気持ちに沿って、見守りや付き添いを心がけている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回避難訓練を計画し、法人内の3施設と合同で訓練を実施したり、自動火災通報装置により近隣住民からの協力を得る体制を整えたり、スプリンクラーの設置をしたりして災害に備えている。		

長崎県 医療法人表心会グループホームまごころ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月1回の体重測定を記録したり、食事量や水分量のチェックをしたりして一人ひとりの状態の把握に努めている。また、糖尿病の方には医師や看護師の指導を受け、糖尿病食も提供している。	○	栄養の専門的観点から、法人内の栄養士より献立のチェックをしてもらう等、栄養のバランスに配慮する取り組みも期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井が高く開放感のある居間には日が良く当たり、風通しもよく心地よい空間となっている。その月に応じた手作りのカレンダーや行事の際の写真等が飾られ、楽しい雰囲気づくりを心がけている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には個別の洗面所やトイレがあり、プライバシーに配慮された暮らしやすい間取りとなっている。室内には家族の写真や利用者が描いた絵も貼られ、本人が居心地良く過ごせるように配慮している。		